



ちよう
庁の名前を教えてください。

ちよう なにちよう
来年新しくできる庁は何庁でしょう?

セーブ・ザ・チルドレン ニュース

ウクライナ危機

2022年2月から、ウクライナでは紛争がはげしくなり、およそ1,380万人がひなん生活をおくっています。セーブ・ザ・チルドレンは、ウクライナ国内でウクライナ政府やパートナー団体と協力しながら、12万1,100人の子どもをふくむ21万9,215人以上に支えんをしました。



ウクライナ国内で支えんを受ける家族の声

マリアさん(13才)は、祖母、母、弟と一緒にウクライナ西部の学校にひなんしました。セーブ・ザ・チルドレンは、マリアさんの家族に食料品や薬、そのほか必要な物を買うように現金を支えんしました。「カバンひとつで家を出たので、私たちにとって、この支えんはとても大切です。薬を買って子どもたちの治りようを続けることができました。」

こうげきを受けたウクライナの学校

ウクライナ支えん6つの分野



子どもの保護
子どもが安心・安全にすごせたり遊んだりできる場所「こどもひろば」をひらいています。



現金支えん
食料や薬、ねん料など必要なものを買うよう、お金の支えんもしています。



教育支えん
学校をなおしたり、子どもたちの勉強に必要な物をとどけたりしています。



こころのケア
専門家が紛争のえいきょうを受ける子どもたちやその家族にこころのケアを行っています。



生活に必要な物の支えん
食料や水のほか、マスクや石けん、歯ブラシなど生活に必要な物をとどけています。



保健・医療支えん
子どもや妊娠中の人たちが健康にすごせるよう、治りように必要な薬などを病院にとどけています。

※すべて2022年6月末の数字です。

周辺国でのセーブ・ザ・チルドレンの子ども支えん活動



ウクライナからおよそ3人に2人の子どもが、国外へひなんしています。セーブ・ザ・チルドレンは、ポーランドやルーマニア、リトアニア、デンマーク、フィンランド、ドイツ、イタリア、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス、オランダなどで「こどもひろば」をひらいたり、生活に必要な物をとどけるなど、子どもたちやその家族を支えんしています。



ありがとうございました

ウクライナ支えんのため、日本や世界各国のセーブ・ザ・チルドレンによせられた寄付は約**45億円**でした(2022年3月末時点)。

多くの学校で募金活動に協力いただきました。セーブ・ザ・チルドレンの活動のためのお金として大切に使っています。

くわしくはこちら ▶ <https://bit.ly/3wFOUHA>

知ってる?

「子ども家庭庁」



「子ども家庭庁」って?

今年の国会で、来年春に「こども家庭庁」が新しくつくられることが決まりました。「こども家庭庁」は、子どもを社会の中心におき、子どもに関するさまざまな政策を取りまとめる司令塔としての役わりが期待されています。

なぜ今「こども家庭庁」をつくるの?

いじめや不登校、ぎやく待など日本の子どもたちの問題も深くなっています。その理由として、これまで日本では、子どもの問題をかい決するための取り組みが十分でなかったことなどがあげられます。「こども家庭庁」は、このような社会の仕組を見直し、「こども中心」へと変えていくことをめざしています。



こども家庭庁の基本方針

- 1 「こどもや子育てをしている人の目線に立った政策をつくること」
- 2 「すべてのこどもが心も身体も健康に育ち、幸せになること」
- 3 「だれひとり取り残さないこと」
- 4 「政府の仕組みや組織、こどもの年れいによって、こどもや家庭への支えんがとぎれないようにすること」
- 5 「こどもや家庭が自分から動けなくても、必要な支えんがとどくようにすること」
- 6 「こどもに関する調査・データをしっかりと政策にいかすこと」
(内閣官房こども家庭庁設立準備室「こども家庭庁パンフ」より)

くわしくは、「こども家庭庁」を説明したウェブサイトをご覧ください ▶ <https://bit.ly/395V2iX>

世界のお昼ごはん



モンゴル

モンゴル料理のツォイアンです。ピクルスなどの野菜や肉がたっぷり入っていておいしいです。モンゴル料理がはじめての人にもおすすめです。

